



Data Manager M(EDMM)
初期設定マニュアル
(通信・ennexOS SunnyPortal)

2019-10-11

Ver.2.0

BD190406 [EDMM通信設定マニュアル]改版



改訂履歴

2019.03.05 • 初版 (Ver.1.0) 「BD190406 [EDMM通信設定マニュアル]」 発行

2019.10.11 • ファームウェアバージョンをFW1.04に修正 (Ver.2.0)



目次

1.	注意事項	3
2.	LANケーブルの施工状態の確認	4
3.	WiFi経由でのEDMMへの接続	5
4.	EDMMの設定	8
5.	有線LAN経由でのEDMMへの接続	16
6.	ennexOS SunnyPortalの利用	18
7.	EDMMを既存のennexOS SunnyPortalに追加	26
8.	EDMM有線LANポートの固定IPアドレス設定	30
参考	EDMMの手動ファームウェアアップデート	32



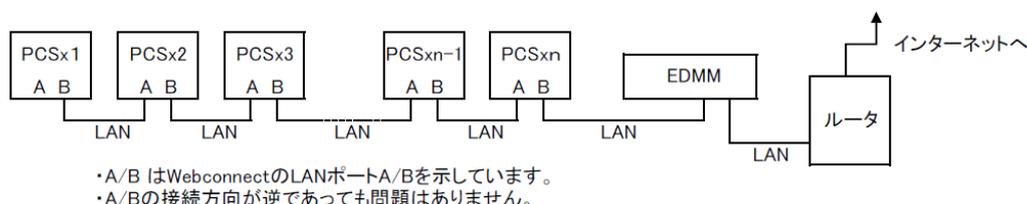
1. 注意事項

- ①Data Manager M（以下、EDMM）の通信設定にはインターネット環境が必須です。一時的なインターネット環境ではなく継続的に使用できる環境を整えたくてEDMMの設定作業を行ってください。
 - ②EDMMの通信設定にはPCS間、およびPCSとEDMM間のLANケーブルの施工が必須です。
 - ③EDMMの通信設定にはWiFi接続ができるパソコン（以下、PC）が必須です。PCのOSは問いませんが、このマニュアルではWindowsを前提に説明します。
*タブレットやスマートフォンは表示領域が小さいため、設定用機器としてはお勧めできません。
 - ④ennexOS SunnyPortalを利用する際には、あらかじめユーザー登録を行っておくことを推奨します。
下記のリンクからユーザー登録を行ってください。
<https://ennexos.sunnyportal.com>
- ユーザー登録には有効なメールアドレスが必要です。また、本人確認のため登録したメールアドレスに確認メールが届き、それに答えることでSunnyPortalのユーザー登録が完了します。
- *既に、従来のSunnyPortalを利用している場合、ユーザー登録は不要です。



2. LANケーブルの施工状態の確認

PCS間、およびPCSとEDMM間のLAN配線イメージは下図の通りです。



- ①SunnyExplorerを利用してPCSの設定は完了していることを前提としています。
SunnyExplorerでのPCS設定は別紙の設定マニュアルを参照してください。
- ②PCをルータのLAN側に接続してインターネット接続できることを確認してください。
*インターネット接続ができない場合はインターネット環境を正しく設定してください。
- ③EDMMの通信設定を行う場合、少なくともPCSのDC側がONしている必要があります。
*PCSが運転状態でもEDMMの通信設定は可能です。
- ④LAN配線を正しく行い、EDMMおよびルータの電源を投入した段階で、PCSはIPアドレスを取得します。
PCSの液晶モニターのメッセージ行に、192.168から始まるIPアドレス、または172から始まるIPアドレスが表示されているかを確認します。
*IPアドレスが表示されない、または169から始まるIPアドレスが表示される場合はルータが動作していない、あるいはルータのDHCPサーバ機能が無効になっている可能性があります。併せて、LANケーブルが断線している可能性がありますので確認してください。
- ⑤EDMMのFWアップデートにはUSBメモリが必要です。現場作業の実施前にはUSBメモリにアップデート用のファイルのコピーをお願いします。

*実際のFWアップデートの方法は、このマニュアルの参考ページを参照してください。

必要条件：

- ・ 最大32 GBの保存容量を持つUSBメモリ、かつ、FAT32ファイルシステムでのフォーマット

手順：

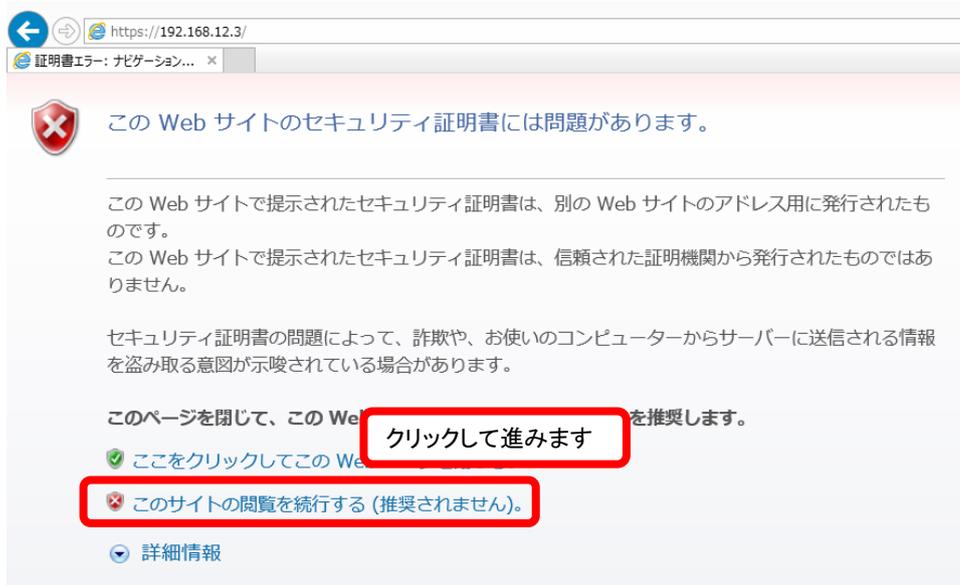
1. USBメモリに「update」フォルダを作成します。
2. アップデートファイルを「update」フォルダに保存します。
アップデートファイルはEDMM購入先にお問い合わせください。
3. アップデートファイル名を「update.upd」に変更します。

ここまでの作業を現場作業前に実施しておくのが効率的です。



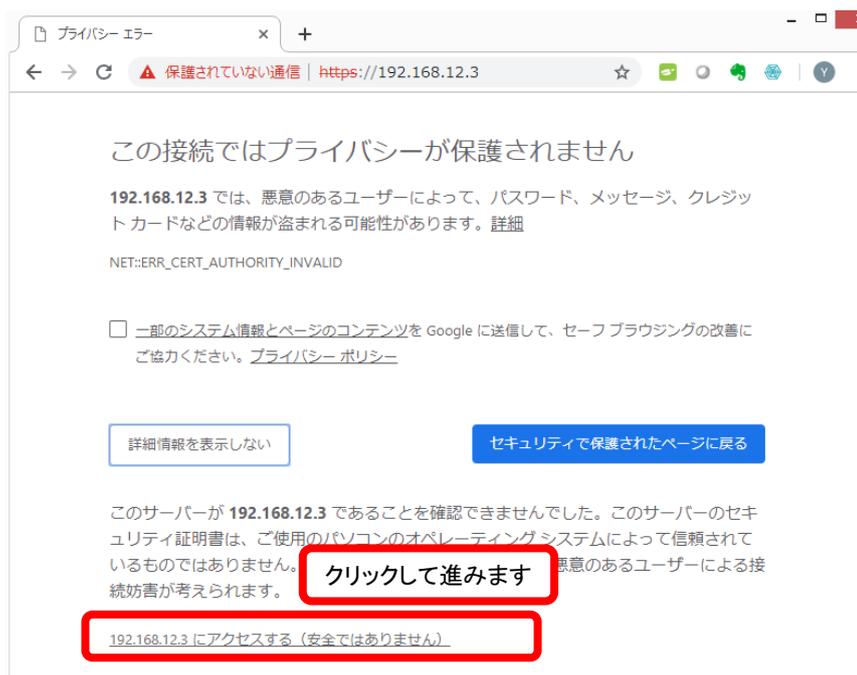
- ③WiFi接続が完了したら、Internet Explorer, Chromeなどのブラウザを起動します。
ブラウザのアドレスバーに <https://192.168.12.3> を入力してEDMMに接続します。
セキュリティ確認が行われますが、下記画像の様に進めます。

Internet Explorer の例



Chrome の例





*ここからはChromeを利用した場合の説明とします。その他のブラウザでも表示される内容は同じです

下記のような画面がブラウザに表示されれば、EDMMへの接続が完了したことになります。



*「時刻サーバーへの接続」は必須です。もし、「時刻サーバーへの接続」が「時刻は同期されます」の表示になっていない場合は、インターネットへの接続ができていない可能性があります。インターネット環境にEDMMが正しく接続されているかを確認してください。



4. EDMMの設定

EDMMへの接続確認のあと、実際の設定作業に移ります。ここで設定する内容はEDMM配下のPSCとの通信、アクセス権限者およびennexOS SunnyPortalの設定が中心になります。

①EDMMへの接続初期画面で次の内容を確認します。

- ・ファームウェアバージョンが 1.3.13R 以上のバージョンであること
- ・IPアドレスが169から始まるアドレスでは無いこと
- ・デバイスの時刻が正しい日時を示していること
- ・「次へ」のボタンがクリックできる状態であること

ようこそ
SMA DATA MANAGER M

画面に、設定方法が順を追って表示されます。

現在の状態:

製造番号	3001688358
ファームウェアバージョン	1.4.19.R
IPアドレス	ネットワーク設定を変更 192.168.11.10
デバイスの時刻	2019/08/16 14:47
時刻サーバーへの接続	時間は同期されず
Sunny Portalへの接続	接続中

次へ

*EDMMはインターネット環境に接続できる状態が必須です。

*IPアドレスが想定していないアドレスの場合やデバイスの時刻が正しくない場合はインターネット環境が正しく設定されていない可能性があります。

→ルータのDHCP機能がOFFになっている、接続ポートが閉じられている可能性があります

→123番ポートおよび9524番ポートを開放する設定を行ってください。



②監理者登録を行います。

- 名前（姓名）、ユーザー名はアルファベットを利用した記載を推奨します。
- パスワードは「パスワードガイドライン」に記載されている条件を満たす必要があります。
- パスワードはSMAが再発行することはできません。必ず入力した内容を忘れないように記録してください。
 *このパスワードはEDMMにログインするためのパスワードです。
 *SunnyPortalのパスワードとは無関係に設定することが可能です。
 *ユーザー名、パスワードを忘れた場合、EDMMを工場出荷状態に戻し、再度設定作業を行う必要がありますので注意をお願いします。
- すべての記載ができれば、「次へ」をクリックします。

*敬称のプルダウンメニューの選択肢「様」・「様」となっています。(FW1.04)

*メニュー上の「様」はMr. メニュー下の「様」はMs.を表しています。

*この表記は今後のFWアップデートで改善の予定です。



③デバイス名の登録と同期・自動更新の確認を行います。

- デバイス名はEDMMの表示名のことです。
- このデバイス名がennexOS SunnyPortalに表示されることになります。
- 太陽光発電所にEDMMを1台だけ導入する場合は「スタンドアロン型マスター」を選択します。
- 複数のEDMMを導入する場合は、その役割に応じて「上位マスター」「スレーブ」を選択します。

SMA DATA MANAGER

10% 試運転調整 デバイスの設定

デバイスの設定 ⓘ

デバイスの名前を入力します。

デバイス名*

Data Manager

お使いのシステムでのData Managerの用途は何ですか？

スタンドアロン型マスター お使いのシステムの開ループ制御または閉ループ制御に下位Data Managerを用いずにData Managerを使用する場合はこのオプションを選択します。

上位マスター 他の下位Data Managerデバイスを用いてお使いのシステムの開ループ制御または閉ループ制御に上位デバイスとしてData Managerを使用する場合はこのオプションを選択します。

スレーブ Data Managerを下位デバイスとして使用したい場合はこのオプションを選択します。このオプションを用いて、Data Managerは上位デバイスの開ループ制御または閉ループ制御コマンドを受信します。このコマンドは、開ループ制御コマンドとして接続デバイスに転送されます。

次へ

④自動アップデート・自動更新の同意にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。

SMA DATA MANAGER

20% 試運転調整 DATA MANAGERの設定

DATA MANAGERの設定 ⓘ

自動アップデートとSunny Portalとの同期

(はい、私はData Managerが自動セキュリティ・機能更新を受け取ることに同意します。*

(はい、私はData ManagerがSunny Portalと同期することに同意し、インターネットを介してシステムにアクセスします。*

SMA製品の自動更新

(はい、私はData Managerが更新可能なSMA製品に関して本システムで自動更新することに同意します。*

次へ



⑤システムのパスワードを入力します。

- ＊このパスワードはPCSに対してのパスワードです。(デフォルトの1111は使用できません)
- ・記載ができたなら、「次へ」をクリックします。

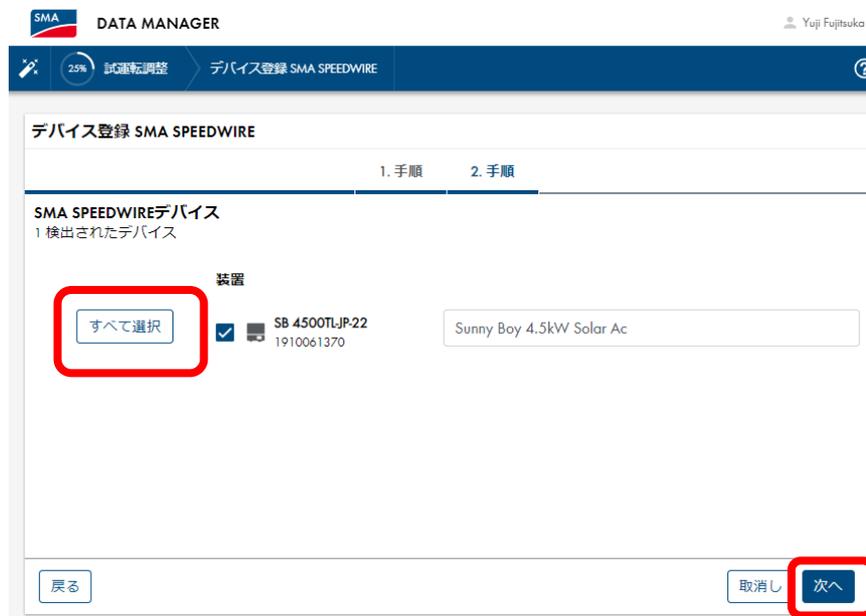
⑥デバイスの検索を行います。

- ・EDMMの配下にあるPCSと検索されたデバイスの台数が一致するかを確認します。
- ・正しい台数を認識していれば、「次へ」をクリックします。
- ＊正しい台数を認識していない場合、LANケーブルの断線やPCSが正しいIPアドレスを取得していないことなどが考えられます。



⑦デバイスの登録（PCS）を行います

- ・「装置」の部分にEDMM配下のPCSが表示されていることを確認します。
- ・「説明」の部分にはPCSの説明を記載することができます。（例 管理用番号PCSO4-3 など）
- ・「すべて選択」→「次へ」をクリックします。



⑧デバイス登録（Modbus機器）を行います。

- ・Modbus機器を登録する場合はこの画面で登録が可能です。
 - ＊Modbus機器の登録は後から行うことも可能です。
 - ＊WiFi接続での設定作業が一通り終わってからの設定を推奨します。
- ・登録機器が無い場合は「次へ」で進みます。





⑨各国規定の設定

- (重要) SunnyExplorerでPCSの整定値を入力済みの場合は「いいえ」を選択します。
*ここで「はい」を選択した場合、PCSの設定がデフォルトに戻ってしまいます。
*これからEDMM経由でPCSの設定を行う場合は「はい」を選択してください。
*このときプルダウンメニューから系統周波数に応じて「JP50」または「JP60」を選択してください。

SMA DATA MANAGER Yuji Fujitsuka

50% 試運転調整 各国規格

各国規格

お使いのデバイスに国の規格を設定しますか。

はい いいえ

次へ

⑩設定電力量計の設定

- この内容は日本国内では使用しないため、そのまま「次へ」をクリックします。

SMA DATA MANAGER Yuji Fujitsuka

03% 試運転調整 電力量計の設定

設定電力量計

電気

記号	装置	チャネル
買電量	利用できるデバイスはありません。	
売電量	利用できるデバイスはありません。	
太陽光発電	すべての太陽光発電パワーコンディショナ	太陽光発電

次へ



⑪ Modbusサーバーの設定

- EDMMをModbusTCP/UDPサーバとして利用する場合は「有効」にチェックをいれます。
- チェックを入れると詳細な設定項目が表示されます。
- この設定は初期設定完了後でも設定可能です。
- 必要/不必要が不明な場合はチェックを入れずに「次へ」をクリックしてください。

SMA DATA MANAGER Yuji Fujitsuka

75% 試運転調整 MODBUSサーバー

MODBUSサーバー

設定

有効

次へ

⑫ 制御の種類の設定

- 外部信号で有効電力、無効電力を制御する場合に選択します。
- 日本では電力会社の出力制御が該当しますが、初期設定後にまとめて設定することを推奨します。

SMA DATA MANAGER Yuji Fujitsuka

88% 試運転調整 0% 系統管理サービス 制御の種類

制御の種類

どの制御方式に対して制御値を設定するか選択してください。

有効電力

無効電力

次へ



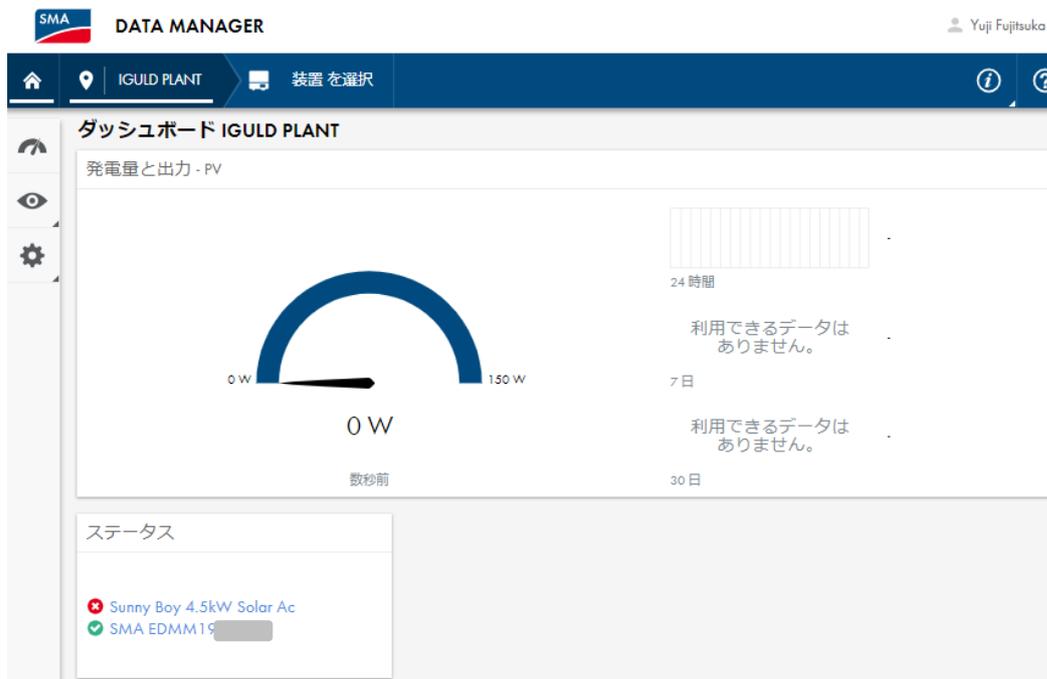
⑬「設定が完了しました」の画面の確認

- 下記の画面が表示されることを確認して、「太陽光発電システムに移動」をクリックします。



⑭ダッシュボード画面の確認

- 下記の「ダッシュボード」画面が表示されることを確認します。
- 「ステータス」の部分にEDMM配下のPCSが表示されていることを確認します。
*PCSが正常に運転されている場合は、緑のチェックマークが入ります

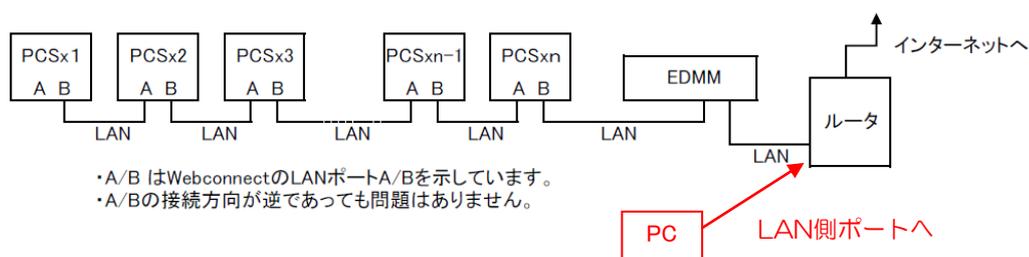




5. 有線LAN経由でのEDMMへの接続

有線LAN経由での接続を行う場合、ルータ等のDHCPサーバからEDMMに対してIPアドレスが払い出されている必要があります。さらに、その払い出されたIPアドレスを把握した状態でなければ接続することができません。

有線LANでEDMMに接続する場合、PCはルータのLAN側ポート（あるいはネットワーク上同等のポート）に接続されている必要があります。



①WiFi接続でEDMMの有線LANポートのIPアドレスを把握する

- 先の「4. WiFi経由でのEDMMへの接続」で確認したEDMMの画面に有線LANのIPアドレスが表示されます。このIPアドレスを基にブラウザのアドレスバーに [https://\[IPアドレス\]](https://[IPアドレス]) の形式で入力することにより有線LANでの接続ができます。

ようこそ
SMA DATA MANAGER M

画面に、設定方法が順を追って表示されます。

現在の状態:

製造番号	300
ファームウェアバージョン	1.3.13.R
IPアドレス	ネットワーク設定を変更 172.19.28.120
デバイスの時刻	2019/02/20 13:58
時刻サーバーへの接続	接続中
Sunny Portalへの接続	接続中

次へ



- *このIPアドレスはルータ等のDHCPサーバから貸し出されたIPアドレスであるため、ルータの再起動やEDMMの再起動により変わる場合があります。
- *EDMMの有線LANポートを固定IPアドレスにするには「ネットワーク設定を変更」をクリックして固定IPアドレスを設定することが可能です。
- *固定IPアドレスにする場合はIPアドレスの重複等、ネットワークの通信不具合が発生しないように十分注意してください。

②他の方法でEDMMの有線LANポートのIPアドレスを把握する

- *以下の方法はコンピュータネットワークの知識が必要になります。
- ルーターへのアクセス権限がある場合は、DHCP払い出し状況を確認する
- DNSサーバが稼働している、PCでBonjourなどの名前解決ツールが働いている場合は [https://sma\[EDMMのシリアルナンバー\]](https://sma[EDMMのシリアルナンバー]) の形式で接続することが可能です。
- *このとき実際のIPアドレスはnslookupで調べることができます。
- ネットワーク上の機器をスキャンするツールを利用する。

～POINT～

- EDMMは本体に液晶モニターが無いため、直接、有線LANのIPアドレスを把握することができません。
- EDMMへの接続はWiFi経由で行うことが最も簡単で確実です。現場でのEDMM接続はWiFi経由での接続を推奨します。



6. ennexOS SunnyPortalの利用

EDMMを利用する場合、ennexOS SunnyPortalを利用することが可能です。

- *ennexOS SunnyPortalを利用する際は、利用規約およびプライバシーポリシーに同意して頂く必要があります。
- *利用規約およびプライバシーポリシーはennexOS SunnyPortalの利用登録の際に確認をお願いします。

ennexOS SunnyPortalの利用には利用登録（ユーザーアカウントの取得）が必要です。

- *ユーザーアカウントの取得はEDMMの設定前であっても行うことができます。
- *EDMMの運用前にユーザーアカウントを取得しておくことをお勧めします。
- *既にユーザー登録済の場合は⑦に進んでください。

- ① <https://ennexos.sunnyportal.com> にアクセスします。
- ② 「ユーザーアカウントが必要」をクリックします。
 - *既にアカウント登録済の場合はそのままログインしてください。

ennexOS
SUNNY PORTAL

ログイン

ユーザー

パスワード

既存のSunny Portal、Sunny DesignまたはSunny Placesのユーザーアカウントでログインできます。 **ユーザーアカウントが必要**

[パスワードを忘れてしまいましたか?](#)

ログイン



③表示される内容に対して必要な情報を記載します。

ennexOS
SUNNY PORTAL

Sunny Portal、Sunny DesignまたはSunny Placesのユーザーアカウントを既にお持ちの場合は、それを使ってログインしてください。 [こちらからログインしてください。](#)

言語*
日本語

敬称*

名前(名)* 名字(姓)*

Eメール*

パスワード* パスワードガイドライン ⓘ

- 小文字
- 大文字
- 数字
- 特殊文字
- 10-99文字

パスワードの再入力*

④「利用規約」および「プライバシーポリシー」を読み、同意して頂く必要があります。
*それぞれの同意がない場合は「登録」のボタンが有効にはなりません。

私は、[利用規約](#)を読み、これに同意します。*

私は、[プライバシーポリシー](#)を読み、これに同意します。*

登録

⑤登録作業が終わると、確認メッセージが発行された旨が表示されます。
*この段階ではユーザー登録は完了していません。確認メッセージに答える必要があります。

ennexOS
SUNNY PORTAL

ユーザー登録

しばらくすると、[]に確認メッセージが届きます。48時間以内に、確認メッセージにあるリンクからアクセスして、アカウントを有効にしてください。アカウントが有効になったら、Sunny Portalでシステムを登録できるようになります。

このウィンドウを閉じてください。



⑥確認メッセージが登録したEメールアドレスに届きます。

*届いたメールのリンクをクリックして登録手続きを完了させる必要があります。



ようこそ、XXXXXXXXXX様。

ennexOSのSunny Portalにご登録いただき、誠にありがとうございます。

次のリンクをクリックして、24時間以内にEメールの確認を行い、登録手続きを完了してください。

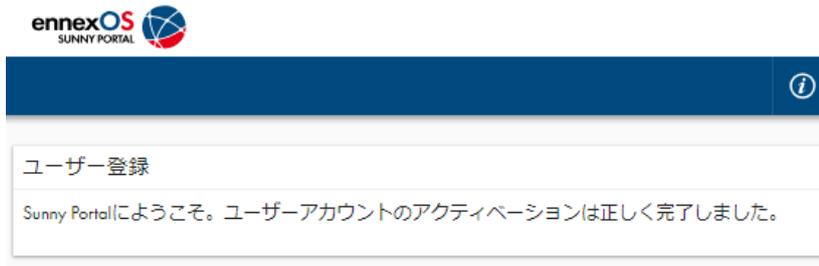
[https://ennexos.sunnyportal.com/activate?
token=JFNQJGZmTU5vNmZPcFBwNVvIRG5kMzFsTIBHM2xIQStQeDRiZVNuTDIsMDhGWTvLWHNSdA==](https://ennexos.sunnyportal.com/activate?token=JFNQJGZmTU5vNmZPcFBwNVvIRG5kMzFsTIBHM2xIQStQeDRiZVNuTDIsMDhGWTvLWHNSdA==)

完了すれば、ユーザーアカウント XXXXXXXXXX で次のオンラインサービスにログインできます。

- ennexOS提供Sunny Portal [ennexOS.SunnyPortal.com](https://ennexos.sunnyportal.com)およびSunny Portal [www.SunnyPortal.com](https://www.sunnyportal.com)
- Sunny Design Web [www.SunnyDesignWeb.com](https://www.sunnydesignweb.com)
- Sunny Places [[www.SunnyPlaces.com](https://www.sunnyplaces.com)][www.SunnyPlaces.com](https://www.sunnyplaces.com)

Sunny Portalチーム

*確認メッセージのリンクをクリックして、下記のメッセージが表示されると登録完了です。



⑦EDMMをennexOS SunnyPortalに登録するために再度下記にアクセスします。

<https://ennexos.sunnyportal.com>

*登録したユーザー名(メールアドレス)とパスワードを入力して「ログイン」します。





⑧初めてennexOS SunnyPortalにログインすると下記のメッセージが表示されます。

「開始」をクリックして次に進みます。

*既にennexOS SunnyPortalで発電所の監視を行っている場合、EDMMの認識方法が異なります。「7. EDMMを既存のennexOS SunnyPortalに追加」の項目に進んでください。



⑨「システムの作成」にチェックを入れて「次へ」で進みます。





⑩ 「システムのプロパティ」(発電所情報) を記載します。

「システム名」には「発電所名」を記載

「試運転調整」にはPCSを起動した年月日

「Location search」には発電所住所を入力することにより地図上にポイントされます。

地図上のポイントはドラッグすることにより移動できます。

緯度・経度は地図上のポイントから自動的に算出します

住所や郵便番号は地図上のポイントを基に自動的に入力されますが、

「Address differs from position」にチェックを入れることで記載することができます。

売電価格を入力することができます。

発電所の説明を入力することができます。



- ⑪ 「設備運用者」「施工者」の情報を記載します。

ennexOS
SUNNY PORTAL

システムの作成

1. 手順 2. 手順 3. 手順 4. 手順

設備運営者

システムの連絡先担当者を定義するには、オペレータと施工者のデータを入力してください。この情報により、SMA Smart Connectedといった追加サービスの提供や問題が発生した際の正しい連絡先担当者への連絡が可能になります。

太陽光発電システムのデータを採用

会社名

納税者識別番号*

納税者番号はありません

施工者

ユーザーデータを採用

会社名

名前(名)*

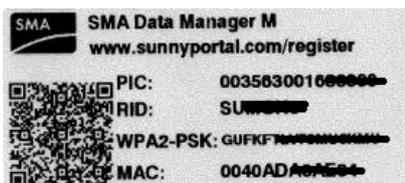
名字(姓)*



⑫ 「システムのプロパティ」(PCS出力、パネル出力、架台の傾斜角、方位角)を入力します。

⑬ EDMMのPIC・RIDを入力し、「保存」をクリックします。

*PIC・RIDはEDMM付属のシールまたはEDMM本体に記載があります。





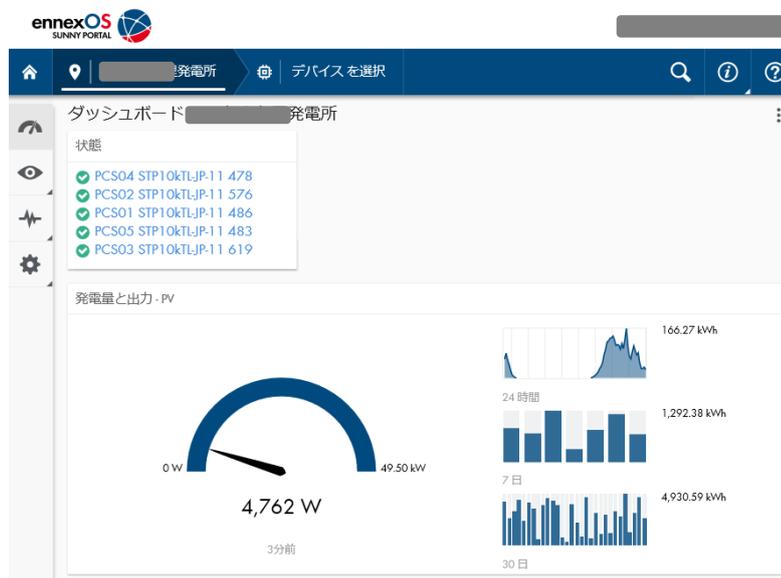
⑭PIC・RIDが認識されるとEDMMのシリアル番号が表示されます。

*EDMMが正しく認識されたことを確認して「保存」をクリックします。

*EDMMが認識されない場合は発電所のインターネット環境が正常であることを確認してください。

⑮ここまでの作業でEDMMのennexOS SunnyPortalへの登録は終了です。

*PCSが稼働している状態であれば、発電量のグラフなどが表示されます。

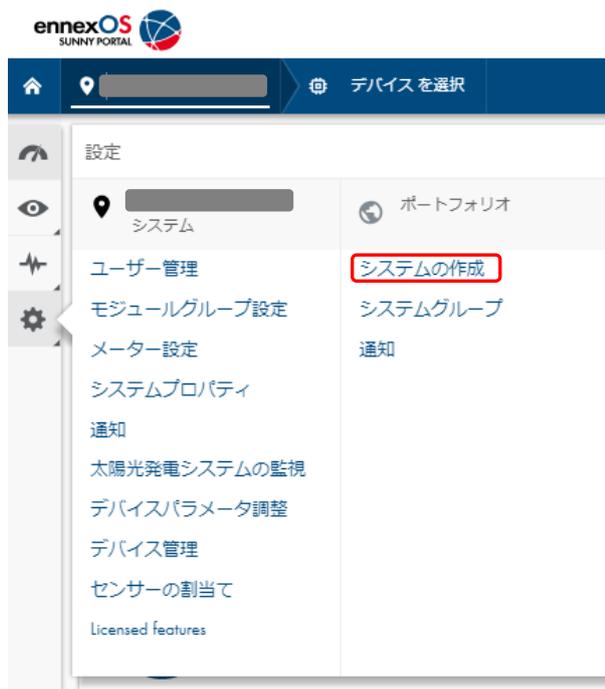




7. EDMMを既存のennexOS SunnyPortalに追加

ここでは既にennexOS SunnyPortalでの監視を実施している状態で、EDMMをennexOS SunnyPortalに追加（発電所を追加）します。

- ①既に監視運用を行っているennexOS SunnyPortalにログインします。
*左側、設定アイコンをクリック→ポートフォリオの「システムの作成」をクリックします。



- ②「システムの作成」にチェックを入れ、「次へ」で進みます。





③発電所の情報を入力し、「次へ」で進みます。

ennexOS SUNNY PORTAL

システムを選択

システムの作成

1. 手順 2. 手順 3. 手順 4. 手順

システムプロパティ

システム名*

試運転調整*

2019/02/22

Location search

Type an address

Hint: Change the address by moving the marker.

地図 航空写真

④「設備運営者」「施工者」の情報を入力し、「次へ」で進みます。

ennexOS SUNNY PORTAL

システムを選択

システムの作成

1. 手順 2. 手順 3. 手順 4. 手順

設備運営者

システムの連絡先担当者を定義するには、オペレータと施工者のデータを入力してください。この情報により、SMA Smart Connectedといった追加サービスの提供や問題が発生した際の正しい連絡先担当者への連絡が可能になります。

太陽光発電システムのデータを採用

会社名

納税者識別番号*

納税者番号はありません

名前(姓)*

名前(姓)*



⑤発電所の出力等の情報を入力して、「次へ」で進みます。

⑥PIC・RIDを入力します。

⑦PIC・RIDを認識するとEDMMのシリアルナンバーが表示されますので「保存」します。



⑧これでennexOS SunnyPortalの設定は完了です。

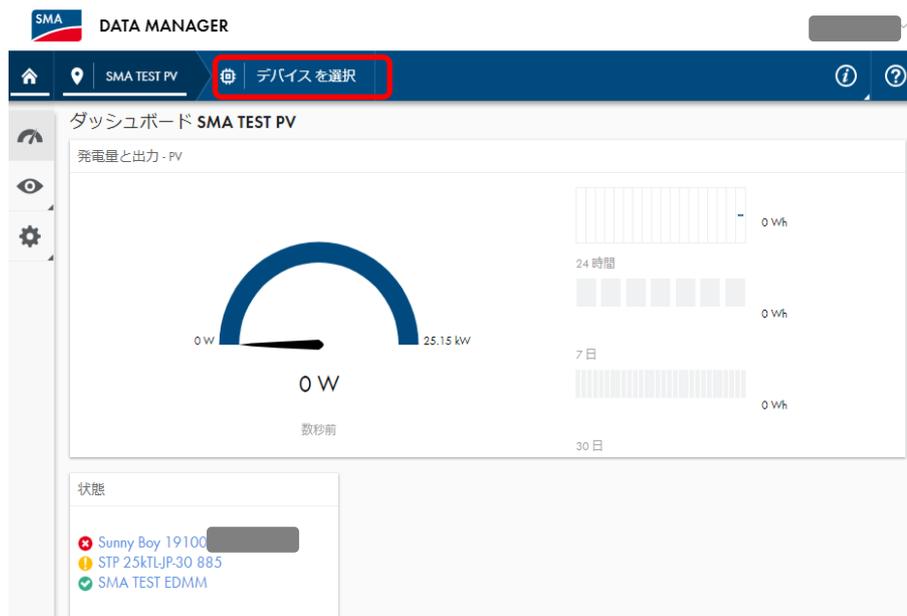




8. EDMM有線LANポートの固定IPアドレス設定

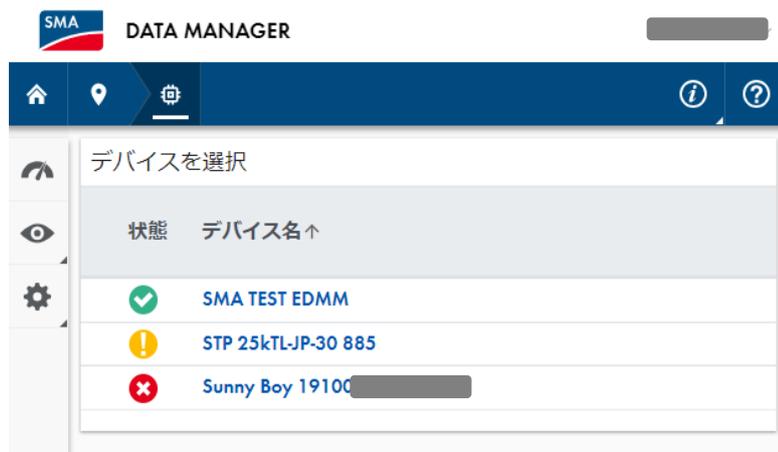
- *EDMMの有線LANポートのIPアドレスを固定することは必須ではありません。
- *VPNを利用してインターネット側からアクセスする必要がある場合にこの項目の設定を行ってください。

①EDMMにログインし、「デバイスを選択」をクリックします。



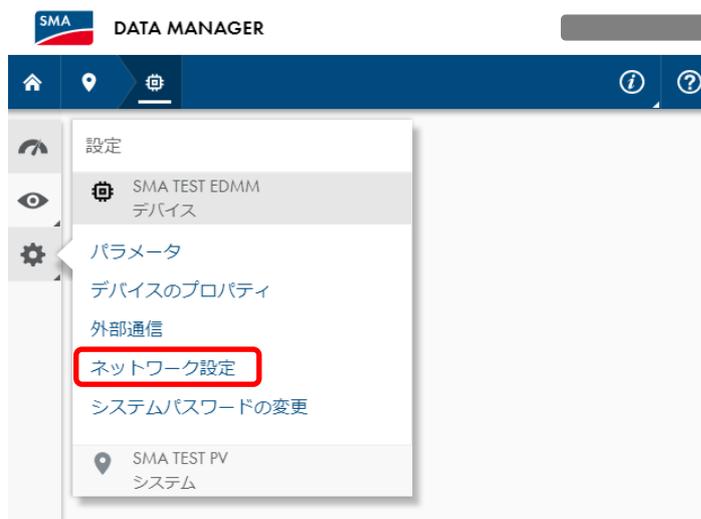
②デバイスの一覧の中から、EDMMを選択します。

- *EDMM名称は初期設定の際に入力しています。必ずしもEDMMの表示があるわけではありません。





③左側メニュー「設定」→「ネットワーク設定」をクリックします。



- ④イーサネットの項目で「自動設定を有効にしますか」の「いいえ」をクリックします。
 *IPアドレスやサブネットマスクは利用しているネットワークの情報を記載してください。
 *IPアドレスの重複などがあると、通信に重大な影響を与えますので注意してください。



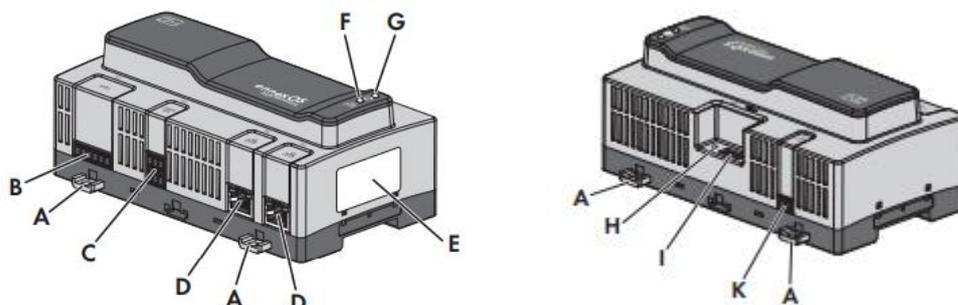
⑤IPアドレスなどの情報が記載できたら、画面下部の「保存」をクリックします。





参考 EDMMの手動ファームウェアアップデート

EDMMは最新のファームウェア（以下、FW）で運用することを推奨します。最新ではないFWの場合、動作不安定になる場合があります。



- ①EDMMの電源を投入した状態でFWアップデート用のUSBメモリを本体 I のUSBポートに差し込みます。USBメモリを差し込むことにより、自動的にアップデートが開始されます。
- ②FWアップデート中、システムLEDはオレンジに点滅し、COM LEDは緑に点滅します。このプロセスには数分かかることがあります。
*システムLEDは、G（上側）、COM LEDは、F（下側）のLEDを示しています。
- ③EDMMは自動的に再起動します。再起動中は、システムLEDとCOM LEDはオレンジに点滅します。再起動プロセスが完了するまで2分ほどかかります。
- ④FWが正常にアップデートされると、システムLEDは連続的に緑に点灯し、COM LEDは緑に点滅します。システムLEDが緑に常時点灯せず、COM LEDが緑に点滅しない場合は、ファームウェアを再びアップデートします。
- ⑤FWが正常にアップデートされたら、USBメモリをEDMMのUSBポートから引き抜きます。
*このときEDMMの電源を落とす必要はありません。
*EDMMの本体でFWバージョンを確認することはできません。このマニュアルの次の項目で確認します。

～POINT～

FWアップデート手順でLEDの点灯が上記の説明の通りにならない場合があります。（EDMMがインターネットを経由して自動アップデートを行ってしまうため）

USBメモリを差し込んで15分経過しても④の状態（システムLED緑点灯、COM LED緑点滅）にならない場合はEDMMの電源を遮断したあと、USBメモリを引き抜き、EDMMの電源を投入して次の設定項目に進んでください。

ここまでで、このマニュアルは終了です。